

若手社員の「主体性」「創造性」を引出す

創造的手法を用いた体感型相互学習

若手社員マインドセット研修

～ひとりひとりのチカラを、組織のチカラを最大に～

株式会社 MANY ABILITIES(メニーアビリティーズ)

代表取締役 野原秀樹(のほら ひでき)

➤ 若手社員の課題

- 社会的な3年目の離職問題。
- 良い意味でも悪い意味でも所属部署の風土に染められてしまう。
- 様々な慣れが変化や変容を起こすことに対しての妨げとなる。
- 目の前の仕事に追われ余裕がなく時間に押し流されている。
- 他者貢献、行動変容など気持ちはあるが行動に移せない。

マインドセットが必要

➤ 若手社員のマインドセット

- 役割と期待、自己理解、他者理解、相互理解を見つめる。
- 改めて仕事へのやりがい、自分の価値観を見つめる。
- 自己成長することにより何がどうなるのかイメージ出来るようにする。
- 変化や変容を起こすことに対して、何が妨げの原因かを見つめる。
- 新たなシーンを創造するとは自らの一歩であることを実感する。

マインドセットを効果的に実現する
創造的手法を用いた体感型相互学習
(インプロ・体感ワーク・対話・気づきの言語化)

➤ 創造的手法を用いた体感型相互学習

創造的手法を用いた体感型相互学習は若手社員の育成に効果があります。

➤ 主体的・対話的で深い学び（文部科学省）

2020年から実施される新学習指導要領では「何を学ぶか」より「どのように学ぶか」など、より能動的なあり方が重要となります。

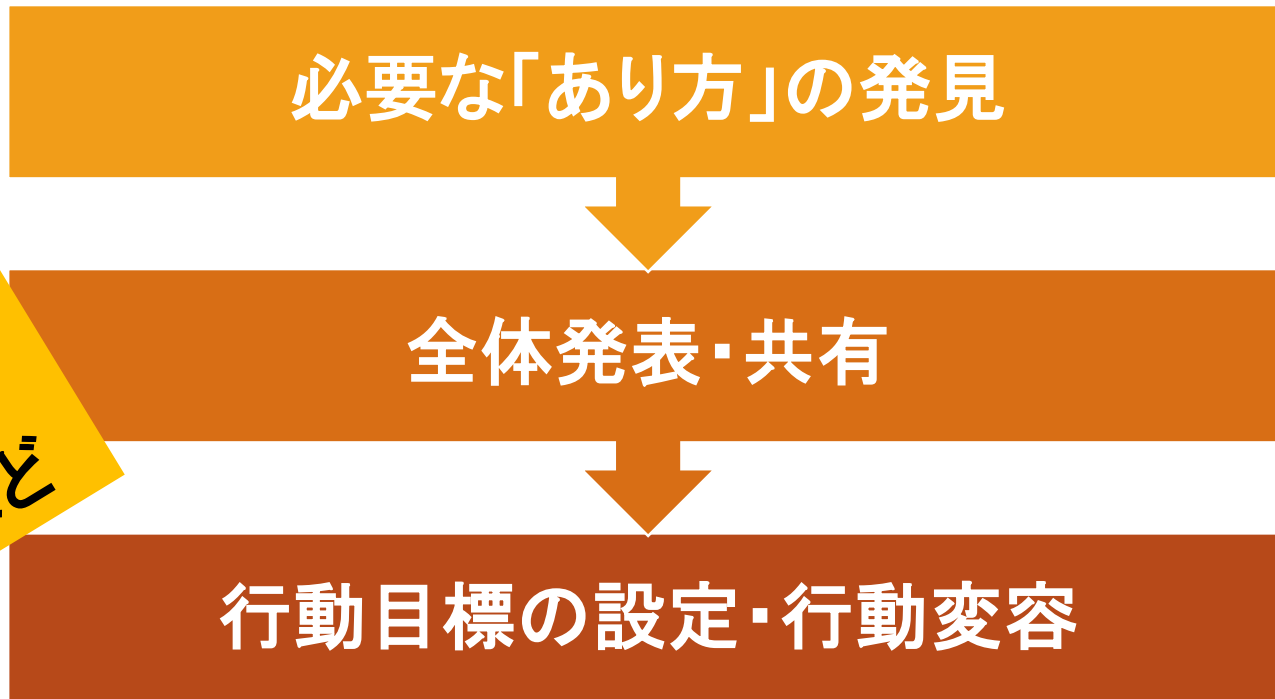
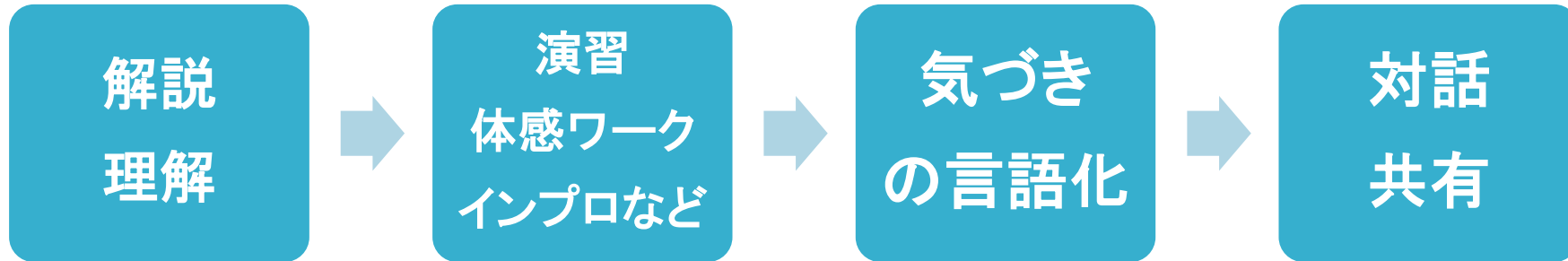
➤ 社会人基礎力（経済産業省）

「アクション:前に踏み出す力」、「シンキング:考え抜く力」、「チームワーク:チームで働く力」の3つの能力と3つの能力に繋がる12の能力要素から構成されています。



**創造的手法を用いた体感型相互学習
(インプロ・体感ワーク・対話・気づきの言語化)**

➤ 創造的手法を用いた体感型相互学習



50種類以上の
演習
体感ワーク
インプロなど

➤ 創造的手法を用いた体感型相互学習

●研修が盛り上がる「仕掛け」（楽しさ、笑い、一体感 など）

- ➡ チーム対抗得点形式（チームビルディング など）
- ➡ 発言に対して得点が得られる（成果の可視化 など）

●「心理的安全性」を実感（発言の増加 など）

- ➡ 講師の受容のスタンスを受講者に伝える（安心感 など）
- ➡ 受講者の発言を増やす（主体性、相互理解 など）

●「成功体験」の積み重ね（自己効力感の高まり など）

- ➡ 体感だからこそその成功体験（楽しさ、自信、やる気 など）

●「非日常」の体感（新鮮、ドキドキ、楽しさ など）

- ➡ 非日常だからこそその気づき、見つめ、あり方の発見

➤ マインドセットを実感する

● マインドセットを実感するのに効果的な「インプロ」と「体感ワーク」

頭の中で思い描いているだけでは物事は実現しません。P(計画)からD(実行)へ踏み出すからこそ、物事は動き始め実現へと繋がるのです。

マインドセットを実感するには、インプロや体感ワークはとても効果的です。
なぜなら、インプロや体感ワークは理論理屈のみでは成立しないのです。
実際に動く、感じる、想像する、体感する、創造することが必要なのです。

つまり、何もしなければ何も創造されない、一歩踏み出せば踏み出した分だけ物事が創造されて行く、変化して行く。それを大いに実感できるのです。

その「体験・体感・対話・気づき」が「マインドセット」へと繋がるのです。

➤ インプロについて

● インプロとは

インプロとはインプロヴィゼーションの略で型にとらわれず自由に思うままに作り上げていく手法。演奏、ダンス、演劇などで取り入れられている。欧米では特に演劇の分野が盛んです。また、海外のビジネススクールでもインプロ教育は取り入れられています。

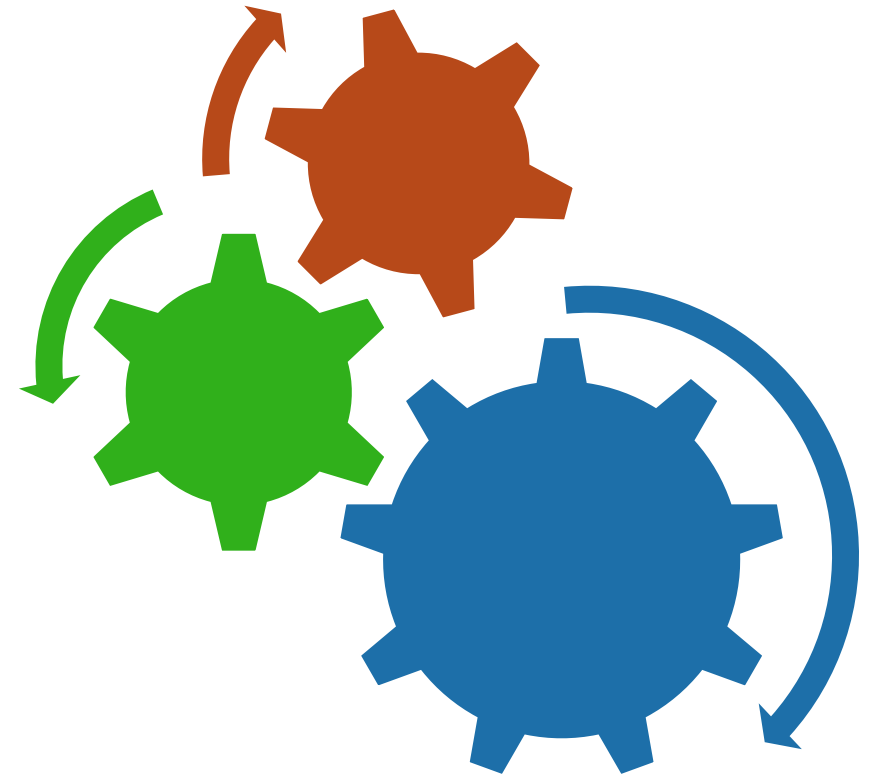
新たなシーンを創り出し、想定外の出来事に対応する力、今ここを最適にするためにはどうすれば良いか、まさに「主体性」「創造性」が試され、その必要性を大いに理解し、習得する事が出来るのです。

➤ インプロについて

● 何故、インプロを行うのか？

日常の仕事もプライベートも「インプロ」

- 「台本のない」世界
- 「選択」の連続
- 「関わり方」により結果が変わる
- 「想定外の出来事」が起こる



「自らシーンを創造している」⇒「インプロの力が必要」

➤ 研修内容(1日版:6時間~7時間)※応相談

内容	体感ワーク・インプロなど
①自己理解 ・自己を見つめる ・役割と期待 ※過去、現在、未来を見つめ俯瞰的視点へのマインドセット	・自己紹介 ・「自己理解」の対話と言語化 ・「役割と期待」の対話と言語化
②自己開示 ・自己開示の重要性 ※より良い人間関係構築へのマインドセット	・チーム名を作ろう ・自己開示を楽しもう ・その他
③自発的協力行動 ・自発的協力行動の重要性 ※やってはいけないことに囚われず、やってよいことを見つけ出す 更には主体性へのマインドセット	・拍手合わせ ・誕生日並び ・カードでグループ ・アドリブミッション(インプロワーク)
④インプロで一步踏み出す ・一步踏み出すとは ※主体性、創造性を発揮して自ら一步踏み出しシーンを創造する 更にはイノベーションへのマインドセット	・シーン創造(インプロワーク) ・ケーススタディ ・その他
⑤振り返りと行動目標の設定 ・振り返りと気づきの言語化 ・行動目標の設定	・アクションプランの作成

※体感ワークなどの後には都度振り返りを行い「気づき」の言語化を行います。

※「気づき」の言語化を通して社会人としてのあり方、仕事に必要なあり方へのフィードバックを行います。

※適宜休憩は設けます。 ※体感ワークやインプロは予定です。進捗状況により内容が変更する場合がございます。 10